

Dell S2415H

ユーザーズ ガイド

モデル : S2415H
規定モデル : S2415Hb



注、注意および警告



注:「注」は、コンピューターをよりよく使いこなすための重要な情報を表します。



注意:「注意」は指示に従わなければ、ハードウェアが故障する危険性、またはデータが消失する危険性を示しています。



警告:「警告」は物件損害、人的被害または死亡の危険性を表します。

著作権 © 2014-2015 Dell Inc. 複製を禁ず。

Dell 社の書面による許可なしには、いかなる方法による複製も厳禁します。

このテキストで使用される商標: Dell および DELL のロゴは Dell Inc の商標です。Microsoft および Windows は商標またはアメリカ合衆国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。Intel は、米国およびその他における Intel Corporation の登録商標の国です。と ATI は Advanced Micro Devices、Inc の登録商標です。ENERGY STAR は、米国環境保護省の登録商標です。ENERGY STAR パートナーとして、DELL 社は、本製品がエネルギー効率に関して、ENERGY STAR ガイドラインに対応することを確認しました。

マークおよび名称を請求する団体またはその製品を参照するために、本文書中で、その他の商標および商号を使うことがあります。Dell 社は、自社以外の商標および商号の所有権を放棄します。

目次

1	製品の特徴	5
	パッケージの内容	5
	製品の特長	7
	部品とコントロールの確認	8
	モニター仕様	11
	プラグ アンド プレイ 機能	19
	LCD モニター品質とピクセル ポリシー	20
	保守のガイドライン	20
2	モニターのセットアップ	21
	スタンドを取り付ける	21
	モニターを接続する	22
	ケーブルを調整する	24
	ケーブル カバーの取り付け	24
	モニタースタンドを取り外す	25
	ケーブル カバーの取り外し	25
	壁取り付け（オプション）	26
3	モニターの操作	27
	モニターを電源オンにする	27
	前面パネルのコントロールを使う	27
	オンスクリーン ディスプレイ (OSD)	
	メニューの使用	29
	最大解像度を設定する	42
	傾けを使う	43
4	問題を解決する	44
	自己テスト	44
	内蔵診断	45
	よくある問題	46
	製品別の問題	49
	Mobile High-Definition Link (MHL) 特有の問題	49
	スピーカー特有の問題	50

5 付録.....51

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）

およびその他規制に関する情報..... 51

Dell へのお問い合わせ..... 51

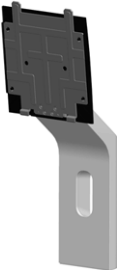
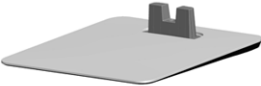
モニターのセットアップ..... 51

製品の特徴

パッケージの内容

モニターには、以下に示すコンポーネントがすべて付属しています。コンポーネントがすべて揃っているかを確認し、コンポーネントが足りないときは [Dell へのお問い合わせ](#)。

 **注：**一部のアイテムはオプションで、モニターに付属していません。機能またはメディアには、特定の国で使用できないものもあります。

	モニター
	スタンド ライザ
	スタンド ベース

	ケーブル カバー
	電源ケーブル（国により異なります）
	電源アダプタ
	HDMI ケーブル
	• ドライバとマニュアルメディア • クイック セットアップ ガイド • 安全と規制についての情報

製品の特長

Dell S2415H フラットパネル モニタにはアクティブ マトリックス、薄膜トランジスター (TFT)、液晶ディスプレイ (LCD) および LED バックライトが搭載されています。モニター の機能は、以下のようになっています：

- 60.47 cm (23.8 インチ) 表示可能領域のディスプレイ (対角で測定)。低解像度でのフルスクリーン対応の 1920 x 1080 解像度もサポートしています。
- 広い表示角度により、座った位置からでも立った位置からでも、または横に動きながらでも見ることができます。
- メガダイナミック コントラスト率 (8,000,000:1)。
- チルト対応。
- マルチ モニタ使用時に美しさを損なわないように、溝を非常に薄くすることで溝のギャップをできるだけ小さくしています。
- HDMI (MHL) によるすべてのデジタル接続機能が、今もそしてこれからもモニター の性能を保証。
- 取り外し可能なスタンドと VESA™ (ビデオエレクトロニクス規格協会) 100 mm 取り付け穴で柔軟な取付が可能。
- プラグ アンド プレイ対応。
- 色域 72% (CIE1931)。
- オンスクリーン ディスプレイ (OSD) 調整で、セットアップと画面の最適化が容易。
- ソフトウェアとマニュアルメディアには、情報ファイル (INF)、画像カラーマッチングファイル (ICM)、および製品マニュアルが含まれています。
- Dell Display Manager ソフトウェア (モニター 付属のディスクに格納されています)。
- 省エネ機能 (Energy Star に準拠)。
- セキュリティ ロック スロット。
- スタンドロック。
- 広角表示から標準表示に、画像の品質を保ちながら切り替える機能。
- EPEAT 金認定。
- BFR/PVC 低減。
- TCO 認証ディスプレイ。
- パネルのみ無ヒ素ガラスかつ無水銀です。
- スリープモード時には 0.5 W スタンバイ電源になります。
- 電源ゲージはモニターが消費している電力レベルをリアルタイムで見ることができます。

部品とコントロールの確認

正面図



前面パネルのコントロール

ラベル	説明
1	機能ボタン（詳細は、 モニターの操作 を参照してください）
2	電源オン / オフ ボタン（LED インジケーター付き）

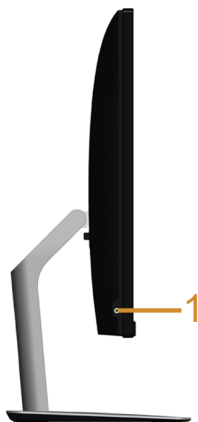
背面図



背面図（モニターのスタンド付き）

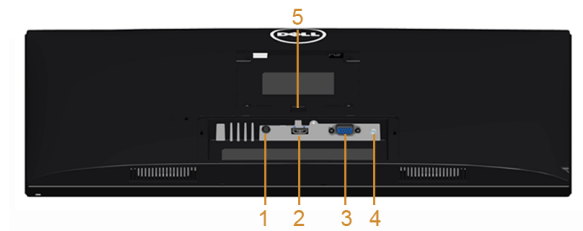
ラベル	説明	使用
1	VESA 取り付け穴 (100 mm x 100 mm - 接続され た VESA カバーの背面)	VESA 互換の壁取付キットを使う壁取付モニ ター (100 mm x 100 mm)
2	規制ラベル	規制承認を表示します。
3	スタンド リリース ボタン	スタンドをモニターから外します。
4	セキュリティ ロックスロット	セキュリティ ロックでモニターを固定しま す（セキュリティ ロックは含まれません）。
5	バーコード シリアル番号ラベル	技術サポートを受けるには Dell に連絡して ください。
6	ケーブル管理スロット	ケーブルをスロットに通してケーブル類を整 理するために使います。

側面図



ラベル	説明	使用
1	ヘッドフォン ポート	ヘッドフォンを接続します。

底面図



モニタースタンドなし底面図

ラベル	説明	使用
1	電源アダプタ ポート	電源アダプタを接続します。
2	HDMI (MHL) ポート	HDMI ケーブルでコンピュータを繋ぐか、MHL ケーブル（別売り）で MHL デバイスを繋ぎます。
3	VGA ポート	コンピュータを VGA ケーブル（別売り）で繋ぎます。
4	オーディオ入力ポート	コンピュータのオーディオ出力（別売り）に接続します。
5	スタンド ロック	M3 x 6 mm ネジを使ってスタンドをモニタにロックする（ネジは含まれていません）。

モニター仕様

フラットパネル仕様

モデル	S2415H
スクリーン タイプ	有効マトリックス - TFT LCD
パネル タイプ	IPS (In Plane Switching)
表示可能画像	
対角	604.70 mm (23.8 インチ)
水平、アクティブエリア	527.04 mm (20.75 インチ)
垂直、アクティブエリア	296.46 mm (11.67 インチ)
エリア	156,246.28 mm ² (242.18 インチ ²)
ピクセル ピッチ	0.2745 mm x 0.2745 mm
表示角度	178° (垂直) 標準 178° (水平) 標準
ルミナンス出力	250 cd/m ² (標準)
コントラスト比	1000 対 1 (標準) 8,000,000 対 1 (メガダイナミックコントラスト オン)
面板コーティング	ハードコーティング グレア (3H)
バックライト	LED エッジライト方式
応答時間	オーバードライブ搭載状態で 6 ms (標準)
色の深さ	16.77 万種類の色
色域	CIE 1931* (72%)

* 色域（標準）は、CIE 1976 (85%) および CIE1931 (72%) テスト基準に基づいています。

解像度仕様

モデル	S2415H
水平走査幅	30 kHz ~ 83 kHz (自動)
垂直走査幅	56 Hz ~ 75 Hz (自動)
事前設定の最高解像度	60 Hz で 1920 x 1080

ビデオのサポートモード

モデル	S2415H
ビデオ ディスプレイ機能 (VGA & HDMI 再生)	480i、480p、576i、576p、720p、1080i、1080p

事前設定ディスプレイ モード

ディスプレイ モード	水平周波数 (k Hz)	垂直周波数 (Hz)	周波数 (MHz)	同期極 (水平 / 垂直)
VESA、720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VESA、640 x 480	31.5	60.0	25.2	-/-
VESA、640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA、800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA、800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA、1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA、1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA、1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA、1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA、1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA、1600 x 900	75.0	60.0	162.0	+/+
VESA、1920 x 1080	67.5	60.0	148.5	+/+

MHL ソースのディスプレイ モード

ディスプレイ モード	周波数 (Hz)
640 x 480p	60
720 x 480p	60
720 x 576p	50
1280 x 720p	60
1280 x 720p	50
1920 x 1080i	60
1920 x 1080i	50
1920 x 1080p	30
1920 x 1080p	60
1920 x 1080p	50
720 (1440) x 480i	60
720 (1440) x 576i	50

電氣的仕様

モデル		S2415H
ビデオ入力信号		- アナログ RGB、0.7 ボルト +/- 5%、正電極が 75 オーム入力インピーダンス - HDMI 1.4 (MHL 2.1)、各差動線路毎に 600 mV、作動ペアあたり 100 オーム入力インピーダンス
同期入力信号		個別水平および垂直同期、電極フリー TTL レベル、SOG（複合同期オン グリーン）
AC/DC アダプター *	入力電圧 / 周波数 / 電流	100 VAC から 240 VAC / 50 Hz または 60 Hz ± 3 Hz / 1.7 A（最大）
	出力電圧 / 電流	出力：19.5 VDC / 3.34 A
インラッシュ電流		115 V / 230 V：150 A（最大）**

* 互換性のある AC/DC アダプター。

**AC ソースは chroma 6530 3KV ソース、または同レベルの AC ソースを使用していなければなりません。

 **注意：モニタの故障を防ぐために、本 Dell モニタ用に設計されたアダプタのみご使用ください。**

ブランド	製造元	モデル	極性
Dell	Delta	DA65NM111-00	
Dell	Chicony	HA65NS5-00	

スピーカーの仕様

モデル	S2415H
スピーカー定格入力	2 x 3 W
周波数応答	200 Hz - 20 kHz
インピーダンス	4 オーム

物理特性

モデル	S2415H
コネクタ タイプ	15-pin D-subminiature（青いコネクタ）、HDMI（MHL）、オーディオ入力、ヘッドフォン出力
信号ケーブル タイプ	- デジタル：取り外し可、HDMI、19 ピン - デジタル：取り外し可、MHL、19 ピン
寸法（スタンド付き）	
高さ	404.6 mm（15.93 インチ）
幅	539.1 mm（21.23 インチ）
奥行き	180.0 mm（7.09 インチ）
寸法（スタンドなし）	
高さ	321.1 mm（12.64 インチ）
幅	539.1 mm（21.23 インチ）
奥行き	45.9 mm（1.81 インチ）
スタンド寸法	
高さ	318.9 mm（12.56 インチ）
幅	190.0 mm（7.48 インチ）
奥行き	180.0 mm（7.09 インチ）

重量	
重さ（パッケージ含む）	6.83 kg (15.06 lb)
重さ（スタンドアセンブリとケーブルを含む）	4.72 kg (10.41 lb)
重さ（スタンドアセンブリなし）（壁取付または VESA 取付用 - ケーブルなし）	3.24 kg (7.14 lb)
スタンドアセンブリの重さ	1.01 kg (2.23 lb)
フロントフレーム（ツヤあり）	14%~20%

環境特性

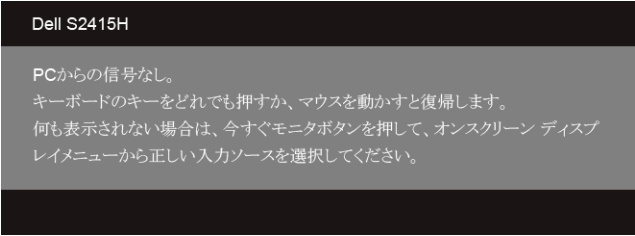
モデル	S2415H
温度	
運転時	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
非運転時	• ストレージ：-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F) • 輸送時：-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
湿度	
運転時	10% ~ 80%（結露しないこと）
非運転時	• ストレージ：5% ~ 90%（結露しないこと） • 輸送時：5% ~ 90%（結露しないこと）
高度	
運転時	5,000 m (16,404 ft)（最大）
非運転時	12,192 m (40,000 ft)（最大）
熱発散	• 122.83 BTU/ 時（最大） • 61.42 BTU/ 時（標準）

電源管理モード

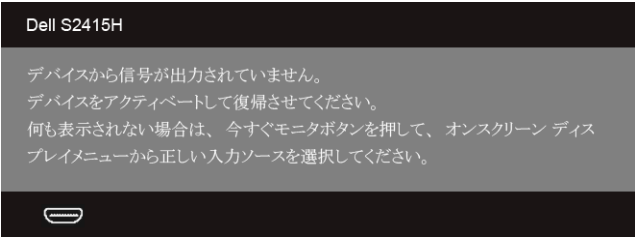
VESA DPM™ 準拠ディスプレイ カードまたは PC 上でインストールしたソフトウェアを使った場合、モニターは、未使用時に、自動的に電源消費の省力を行います。これを、「省電力モード*」と呼びます。コンピューターがキーボード、マウス、またはその他の入力デバイスから入力を検出すると、モニターは自動的に機能を再開します。次の表は、この自動省電力機能の電源消費と信号を表したものです。

VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源インジケーター	電源消費
通常運転	有効	有効	有効	白色	36 W（最大）** 18 W（標準）
無効モード	無効	無効	空白	白（かすかに点灯）	0.5 W 以下
スイッチを切る	-	-	-	オフ	0.5 W 以下

OSD は、通常の動作モードでのみ機能します。アクティブオフモードでどれかのボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。



または



* オフモードでのゼロ電源消費は モニターからの電源アダプタを外してはじめて有効になります。

** 最大輝度のとき最大電力消費量。

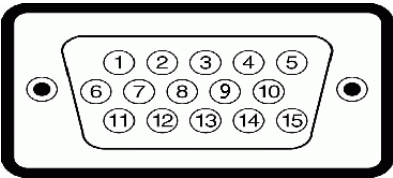
コンピューターがアクティブになり、モニターで OSD にアクセスできるようになります。

 注：本モニターは ENERGY STAR® に準拠しています。



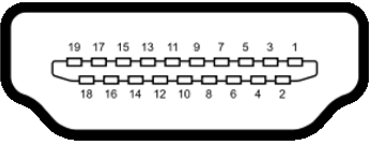
ピン割当

VGA コネクター



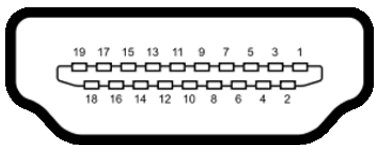
ピン数	接続した信号ケーブルの 15 ピン側
1	ビデオ - 赤
2	ビデオ - 緑
3	ビデオ - 青
4	GND
5	自己テスト
6	GND-R
7	GND-G
8	GND-B
9	コンピューター 5 V / 3.3 V
10	GND- 同期
11	GND
12	DDC データ
13	H- 同期
14	V- 同期
15	DDC クロック

HDMI コネクター



ピン数	接続した信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS DATA 2+
2	TMDS DATA 2 SHIELD
3	TMDS DATA 2-
4	TMDS DATA 1+
5	TMDS DATA 1 SHIELD
6	TMDS DATA 1-
7	TMDS DATA 0+
8	TMDS DATA 0 SHIELD
9	TMDS DATA 0-
10	TMDS クロック +
11	TMDS CLOCK SHIELD
12	TMDS クロック -
13	CEC
14	予約済み（デバイスの N.C.）
15	DDC クロック信号 (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	DDC/CEC 接地
18	+5 V 電源
19	ホットプラグ検出

MHL コネクター



ピン数	接続した信号ケーブルの 19 ピン側
1	TMDS DATA 2+
2	TMDS DATA 2 SHIELD
3	TMDS DATA 2-
4	TMDS DATA 1+
5	GND
6	TMDS DATA 1-
7	MHL+
8	TMDS DATA 0 SHIELD
9	MHL-
10	TMDS クロック +
11	GND
12	TMDS クロック -
13	CEC
14	予約済み（デバイスの N.C.）
15	DDC クロック信号 (SCL)
16	DDC データ (SDA)
17	GND
18	VBUS（+5 V、最大 900 mA）
19	CBUS

プラグアンドプレイ機能

プラグアンドプレイ互換システムで、モニターをインストールすることができます。モニターがディスプレイ データ チャンネル (DDC) プロトコルを使って、コンピューターシステムに拡張ディスプレイ特定データ (EDID) を自動的に提供するため、システムが、自己設定により、モニター設定を最適化します。ほとんどのモニターインストールは自動で行われます。必要に応じて異なる設定を選択できます。モニター設定の変更の詳細については、[モニターの操作](#)を参照してください。

LCD モニター品質とピクセル ポリシー

LCD モニターの製造プロセスにおいて、いくつかのピクセルが特定の状態に固定されることはよくあります。見つけにくく、表示品質および使い勝手に影響しません。Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (<http://www.dell.com/support/monitors>) を参照してください。

保守のガイドライン

モニターを洗淨する

 **警告：**モニターの洗淨前には、電源コンセントからモニター電源ケーブルを外してください。

 **注意：**モニターの洗淨前には、**安全指示**を読み、その指示に従ってください。

最高の性能を引き出すために、モニターを開梱、洗淨、または操作している間、以下のリストの指示に従ってください。

- 静電気防止スクリーンを洗淨するには、柔らかい、きれいな布を水で軽く湿らせてください。できれば、特殊スクリーン洗淨ティッシュまたは静電気防止コーティングに適して溶液を使用してください。ベンゼン、シンナー、アンモニア、研磨クリーナー、または圧縮空気は使用しないでください。
- めるま湯で軽く湿らせた布を使用して、モニターを洗淨します。合成洗剤によりモニターの乳白色のフィルムがはがれることがあるため、合成洗剤の使用は避けてください。
- モニターの梱包を開けている間に白いパウダーにお気づきになりましたら、布で拭き取ってください。
- 暗いプラスチックは、明るいモニターより白いカフマークを削り、表示するため、モニターの取り扱いには注意してください。
- モニターの画像品質を最高の状態に保つために、スクリーンセーバーを作動し、使用しないときはモニターの電源をオフにしてください。

モニターのセットアップ

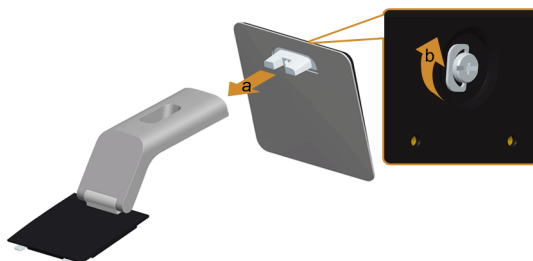
スタンドを取り付ける

 注：モニターはスタンドライザーとスタンドベースが取り外された状態で出荷されています。

 注：下記の手順は、デフォルトのスタンドの説明です。標準外のスタンドを購入された場合は、スタンドの説明書をお読みください。

 警告：ディスプレイパネルにキズがつかないように、モニターを平坦で清潔かつ柔らかい場所に置いてください。

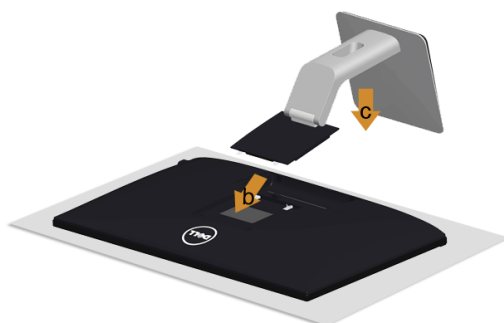
- 1 スタンドライザーとスタンドベースを組み立てます。



a スタンドライザーをスタンドベースに取り付けます。

b スタンドベースの下のネジを締めます。

- 2 スタンドアセンブリをモニターに取り付けます。



a カバーを外し、その上にモニターを置いてください。

b スタンド上部の2つのつまみをモニター背面の穴に挿入します。

c スタンドを押して、はめ込んでください。

モニターを接続する



警告：このセクションで手続きをはじめる前に、**安全指示**に従ってください。

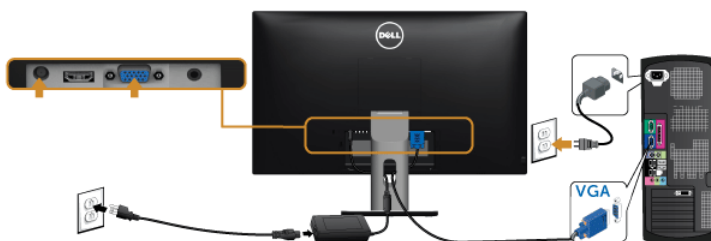


注：すべてのケーブルを同時にコンピューターに接続しないでください。

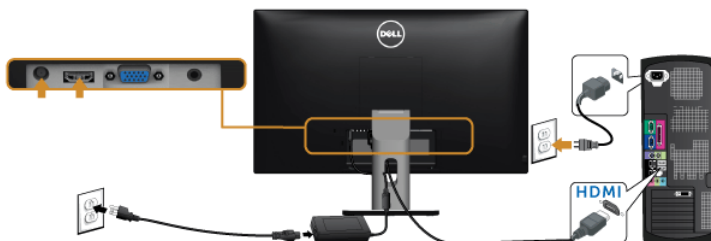
モニターをコンピューターに接続する：

- 1 コンピューターの電源をオフにして、電源ケーブルを外します。
- 2 モニターの VGA/HDMI/ オーディオ ケーブルをコンピューターにつなぎます。

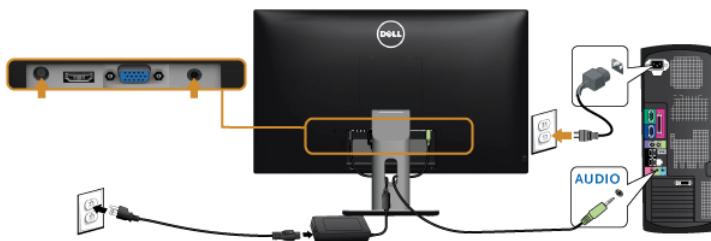
青い VGA ケーブルを接続する



HDMI ケーブルの接続



オーディオ ケーブルを接続します



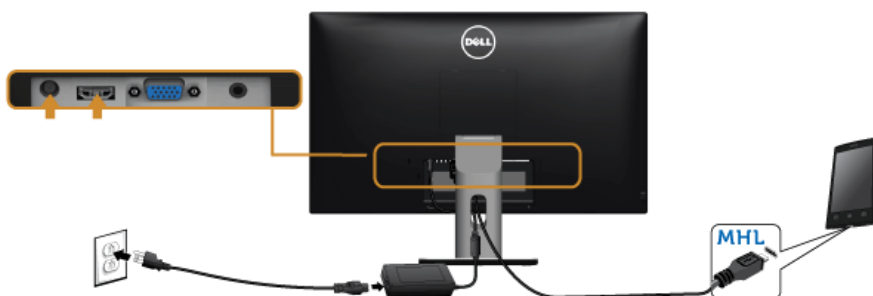
Mobile-High Definition Link (MHL) を使う

-  **注：**このモニターは MHL 認証を受けています。
-  **注：**MHL 機能を使用する場合は、MHL 出力に対応した MHL 認証を受けたケーブルとソース デバイスだけをご使用ください。
-  **注：**MHL ソース デバイスによっては、画像を出力するのに数秒またはそれ以上かかる場合があります。
-  **注：**接続した MHL ソース デバイスがスタンバイ モードに入ると、MHL ソース デバイスの出力によっては、モニターの画面が黒くなったり、あるいは次のようなメッセージを表示したりします。



MHL 接続を有効にするには、次の手順に従ってください。

- 1 モニターに電源アダプタを接続し、その後でコンセントに差し込みます。
- 2 MHL ソースデバイスの (micro) USB ポートとモニターの HDMI (MHL) ポートを MHL 認証ケーブルで繋ぎます (詳細は[底面図](#)参照)。
- 3 モニターと MHL ソースデバイスの電源を入れます。



- 4 OSD メニューを使って、モニターの入力ソースを HDMI (MHL) に設定します (詳細は[オンスクリーン ディスプレイ \(OSD\) メニューの使用](#)参照)。
- 5 画像が表示されない場合は、[Mobile High-Definition Link \(MHL\) 特有の問題](#)を参照してください。

ケーブルを調整する



モニターおよびコンピューターに必要なケーブルすべてを取り付けた後、（ケーブルの取り付けについては、[モニターを接続する](#)を参照してください）上記のとおり、ケーブル管理スロットを使って、すべてのケーブルを適切に調整します。

ケーブル カバーの取り付け

 注：モニターは、ケーブル カバーが外された状態で出荷されます。

- 1 ケーブル カバーの底の 2 つのつまみをモニター背面の穴に挿入します。
- 2 ケーブル カバーを閉じます。カチッと音がするはずです。



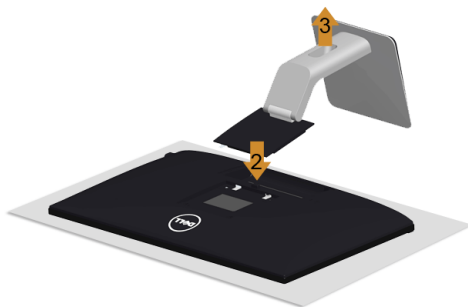
モニタースタンドを取り外す

△ 注意：台を取り外している間に LCD 画面に傷が付かないように、モニターは必ずきれいな面に置くようにしてください。

■ 注：下記の手順は、デフォルトのスタンドの説明です。標準外のスタンドを購入された場合は、スタンドの説明書をお読みください。

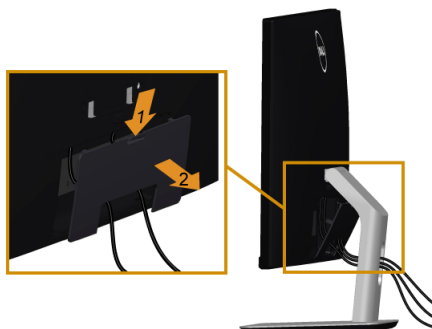
スタンドを取り外すには：

- 1 柔らかい布またはクッションの上にモニターを置きます。
- 2 スタンドリリース ボタンを押し下げます。
- 3 スタンドを持ち上げ、モニターから離します。



ケーブル カバーの取り外し

- 1 ケーブルカバーのつまみを押さえます。
- 2 ケーブルカバーの下部分にある 2 個のつまみをモニタ背面の穴から外します。



壁取り付け（オプション）



 **注：** M4 x 10 mm ネジでモニターを壁取り付けキットに繋がします。

VESA 互換壁取り付けキットに付いている使用説明書を参照してください。

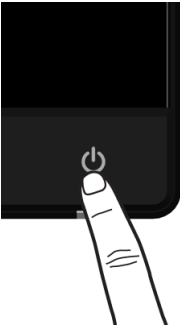
- 1 モニターのパネルを、安定した平らなテーブルの軟らかい布またはクッションの上に置きます。
- 2 スタンドを外します。
- 3 プラス ドライバーを使って、プラスチック カバーを固定している 4 つのネジを外します。
- 4 壁取り付けキットのブラケットをモニターに取り付けます。
- 5 壁取り付けキットに付いている使用説明書に従って、壁にモニターを取り付けます。

 **注：** 5.88 kg (12.96 lb) の最小重量 / 負荷支持強度を持つ UL 指定の壁取り付けブラケットでのみ使用できます。

モニター の 操作

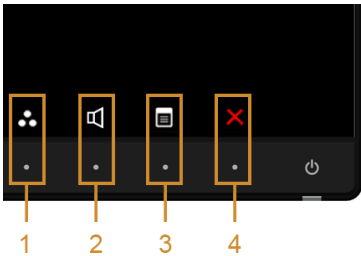
モニターを電源オンにする

 ボタンを押してモニターをオンにします。



前面パネルのコントロールを使う

モニター前面のコントロールボタンを使用して、表示されている画像の特性を調整します。これらのボタンを使用して調整を行うとき、OSD に変更される特性の数値が表示されます。



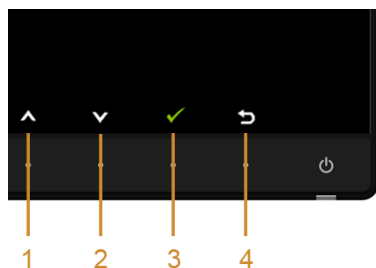
正面パネルのボタンについては、次の表にまとめてあります：

正面パネルボタン		説明
1	 ショートカット キー / プリセット モード	プリセット カラー モードのリストから選択する際には、このショートカットを選択してください。

2		音量調整レベルバーを直接操作できます。
	ショートカットキー / 音量調整	
3		「メニュー」ボタンを使ってオンスクリーン ディスプレイ (OSD) を起動し、OSD メニューを選択します。 メニューシステムにアクセスする を参照してください。
	メニュー	
4		このボタンを使ってメイン メニューに戻るか、OSD メインメニューを終了します。
	終了	

正面パネルボタン

モニタの正面にあるボタンを押して、画像設定を調整してください。



正面パネルボタン		説明
1	 上	「上」ボタンを押すと、OSD メニューのアイテムを調整できます（範囲を広げます）。
2	 下	「下」ボタンを押すと、OSD メニューのアイテムを調整できます（範囲を狭めます）。
3	 OK	「OK」ボタンを押して、選択内容を確定します。
4	 戻る	「戻る」ボタンを使用すると、前のメニューに戻ります。

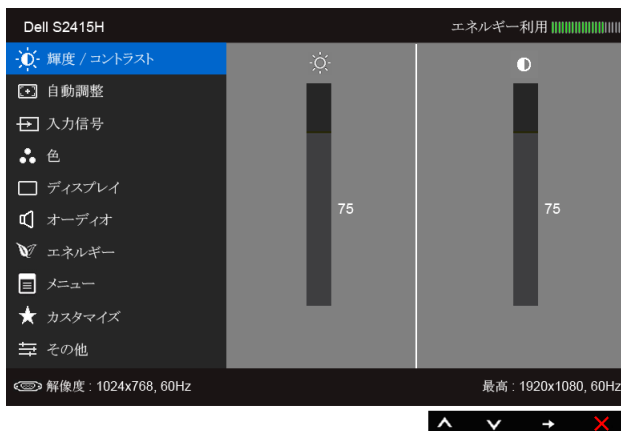
オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの使用

メニューシステムにアクセスする

 **注：**設定を変えてから別のメニューに進んだり OSD メニューを終了したりすると、モニタはこれらの変更を自動的に保存します。設定を変更してから OSD メニューが消えるのを待っても、変更は保存されます。

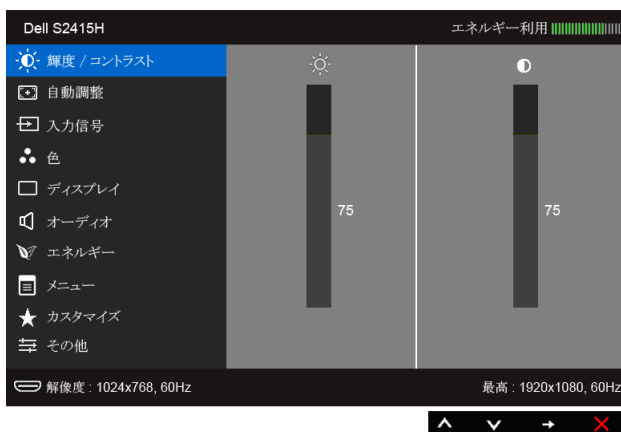
- 1  ボタンを押して OSD メニューを起動し、メインメニューを表示します。

VGA 入力のメインメニュー



または

HDMI (MHL) 入力のメインメニュー



- 2  と  ボタンを使って、メニューのオプション間を移動します。あるアイコンから別のアイコンに移動すると、オプション名がハイライト表示されます。モニターで利用できるすべてのオプションについては、次の表を参照してください。
- 3  ボタンを使うと、ハイライトされたオプションが有効になります。
- 4  と  使って、目的のパラメーターを選択します。
- 5  を使ってスライダーに入り、メニューのインジケーターに従って  と  を使い変更を行います。
- 6  ボタンを選択してメインメニューに戻ります。

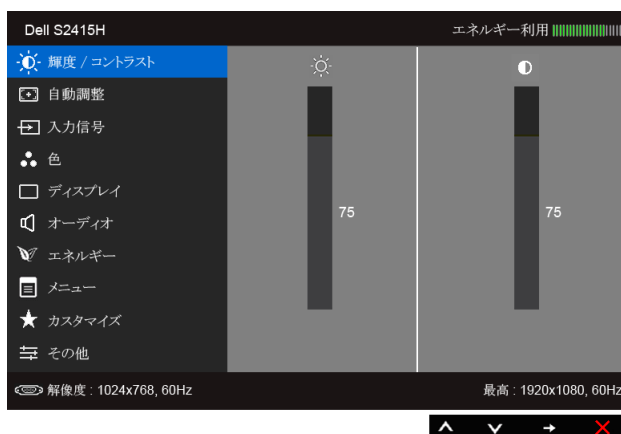
アイコン メニューとサブメニュー

説明



輝度 / コントラスト

このメニューを使って「輝度 / コントラスト」調整を有効にします。



輝度

「輝度」は、バックライトの輝度を調整します。

 を使って輝度を上げ、 を使って輝度を下げます（最小 0 / 最大 100）。

注：「動的コントラスト」がオンになっているときには、手動で「輝度」を調整することはできません。

コントラスト まず「**輝度**」を調整し、それでも調整が必要な場合のみ「**コントラスト**」を調整します。

▲ を使ってコントラストを上げ、▼ を使ってコントラストを下げます（最小 0 / 最大 100）。

「**コントラスト**」機能は、モニターの画面の暗い部分と明るい部分の違いの程度を調整します。

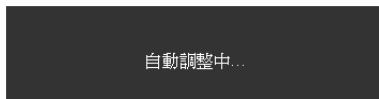


自動調整

起動時にモニターが認識された場合でも、「**自動調整**」機能があれば特定のセットアップで使用するために、ディスプレイ設定を最適化できます。

「**自動調整**」では、モニターに着信するビデオ信号を自動調整します。

「**自動調整**」を使用した後、「**ディスプレイ**」メニューから「**周波数**」（粗い）と「**フェーズ**」（細かい）コントロールを使用して、モニターを微調整することができます。



注：ほとんどの場合、「**自動調整**」で設定すると最適の画像が得られます。

注：「**自動調整**」オプションは、アナログ (VGA) コネクタを使用しているときにのみ利用できます。



入力信号

「**入力信号**」メニューを使って、モニターに接続されたさまざまなビデオ信号を選択します。



自動選択

→ を使って「**自動選択**」を選択すると、モニターが有効な入力ソースをスキャンします。

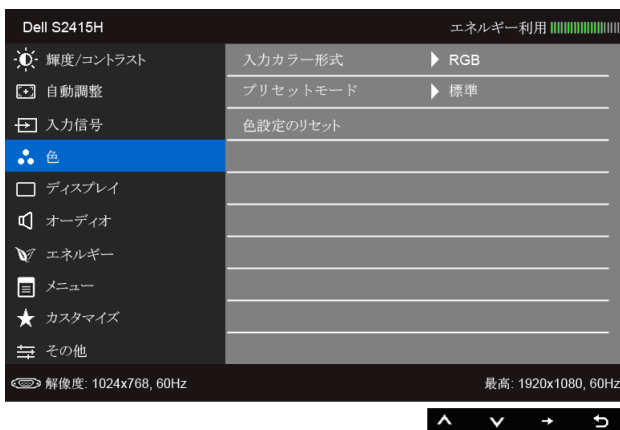
VGA

アナログ (VGA) コネクタを使用しているとき、「**VGA**」入力を選択します。→ を使って VGA 入力ソースを選択します。

HDMI (MHL) HDMI コネクタを使用しているとき、「HDMI (MHL)」入力を選択します。→ を使って HDMI (MHL) 入力ソースを選択します。



色 「色」メニューを使って色設定モードを調整します。

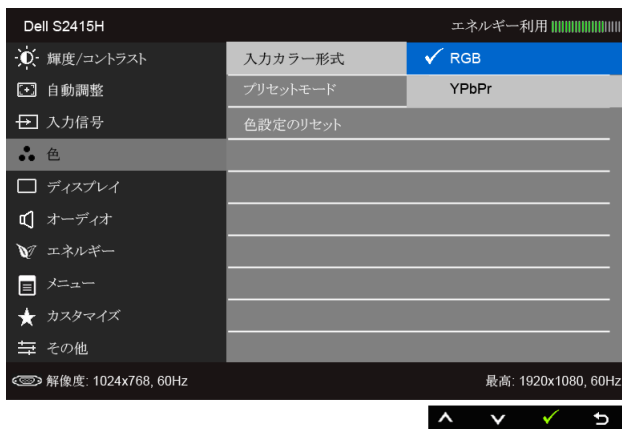


入力カラー形式 ビデオ入力モードを次のように設定できます。

RGB : HDMI ケーブルを使ってモニターとコンピュータに接続している場合は (MHL デバイスの場合は MHL ケーブル)、このオプションを選択します。

YPbPr : HDMI ケーブルを使って YPbPr の DVD プレーヤーとコンピュータに接続している場合は (YPbPr の MHL デバイスの場合は MHL ケーブル)、このオプションを選択します。

または DVD (または MHL デバイス) の色出力設定が RGB 以外の場合。

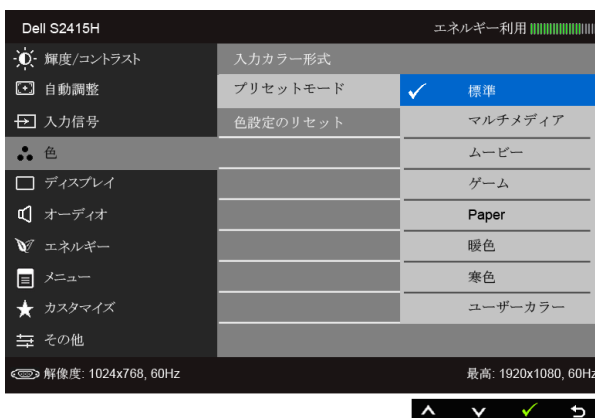


プリセット モード

「プリセットモード」を選択すると、リストから標準、マルチメディア、ムービー、ゲーム、Paper、暖色、寒色、ユーザー カラーを選択できます。

- **標準**：モニターのデフォルトの色設定をロードします。これは、デフォルトのプリセットモードです。
- **マルチメディア**：マルチメディア アプリケーションに適した色設定をロードします。
- **ムービー**：ムービーに適した色設定をロードします。
- **ゲーム**：ほとんどのゲーム アプリケーションに適した色設定をロードします。
- **Paper**：テキストを表示するのに適した輝度とシャープネスの設定を読み込みます。テキストの背景をブレンドして、カラー画像に影響を与えることなしに紙メディアをシミュレートします。RGB 入力形式にのみ適用します。
- **暖色**：色温度を増加します。画面は赤 / 黄の色合いで暖かく見えます。
- **寒色**：色温度を減少します。画面は青い色合いで冷たく見えます。
- **ユーザーカラー**：色設定を手動で調整します。

▲ と ▼ を使って 3 つの色 (R、G、B) 値を調整し、独自のプリセット色モードを作成します。



色相

この機能により、ビデオ画像の色は緑または紫にシフトします。色相は、望ましいフレッシュな色調を調整するために使用されます。▲ または

▼ を使って色合いを「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を使ってビデオ画像の緑の影を増加します。

▼ を使ってビデオ画像の紫の影を増加します。

注：「色相」調整は、「ムービー」または「ゲーム」モードでのみ使用できます。

彩度

この機能は、ビデオ画像の色の彩度を調整します。▲ または ▼ を使って彩度を「0」～「100」の範囲で調整します。

▲ を使ってビデオ画像のモノクロの外見を増加します。

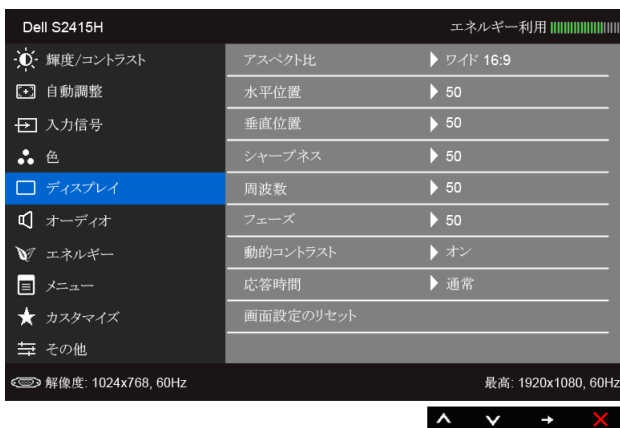
▼ を使ってビデオ画像の色鮮やかな外見を増加します。

注：「彩度」調整は、「ムービー」または「ゲーム」モードでのみ使用できます。

色設定のリセット

モニターの色設定を工場出荷時の設定にリセットします。

ディスプレイ「ディスプレイ」を使って画像を調整します。



アスペクト比 画像の比率は**ワイド 16:9**、4:3、5:4 に設定できます。

水平位置

▲ または ▼ を使って画像を左または右に調整します。

最小は「0」(-) です。

最大は「100」(+) です。

垂直位置

▲ または ▼ を使って画像を上または下に調整します。

最小は「0」(-) です。

最大は「100」(+) です。

注：「水平位置」と「垂直位置」調整は、「VGA」入力でのみ利用できます。

シャープネス この機能を使って、画像をよりシャープにまたはソフトにします。

▲ または ▼ を使ってシャープネスを「0」～「100」の範囲で調整します。

周波数 「フェーズ」および「周波数」調整により、モニターをお好みに従って調整できます。

▲ または ▼ を使って最適の画像品質に調整します。

フェーズ 「フェーズ」調整を使って満足する結果が得られない場合、「周波数」（粗い）調整を使い、次に「フェーズ」（細かい）を再び使用します。
注：「周波数」と「フェーズ」調整は、「VGA」入力でのみ利用できません。

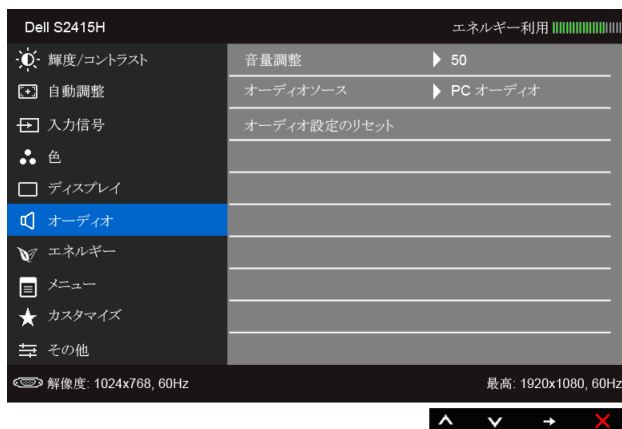
動的コントラスト コントラスト レベルを高めて、よりシャープで鮮明な画質に仕上げます。

▲ ボタンを使って「動的コントラスト」の「オン」または「オフ」を切り替えます。
注：「動的コントラスト」は「ムービー」または「ゲーム」モードを選択したときに高コントラストを実現します。

応答時間 「応答時間」を「通常」または「高速」に設定できます。

画面設定のリセット このオプションを選択して、デフォルトのディスプレイ設定を復元します。

オーディオ



音量調整 オーディオ ソースの音量レベルを調整します。

▲ または ▼ を使って、音量レベルを「0」から「100」の範囲で調整します。

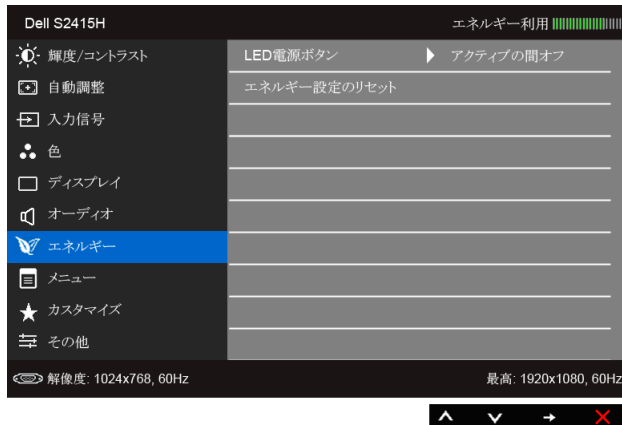
オーディオソース オーディオ ソースを「PC オーディオ」または「HDMI (MHL)」に設定します。

注：「オーディオソース」オプションは、HDMI (MHL) コネクタを使用している場合にのみ選択できます。

オーディオ設定のリセット デフォルトの音設定に戻します。



エネルギー



LED 電源 ボタン

節電のために、電源 LED インジケーターのオン / オフを設定できます。

エネルギー設 定のリセット

このオプションを選択して、デフォルトの「エネルギー」設定を復元します。



メニュー

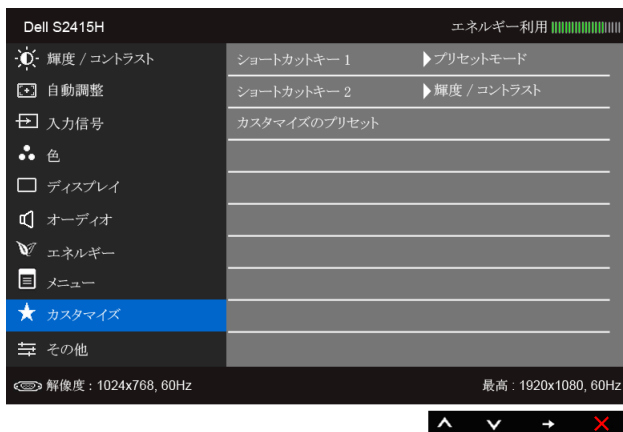
このオプションを選択して、OSD の言語、メニューが画面に表示されている時間など、OSD の設定を調整します。



言語	OSD ディスプレイを 8 つの言語（英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、ロシア語、簡体字中国語、日本語）の 1 つに設定する「 言語 」オプション。
透明度	このオプションを選択し、  または  ボタンを使ってメニュー透明化を変更します（最小 0 / 最大 100）。
タイマー	OSD 保持時間 ：ボタンを最後に押してから OSD が有効になっている時間の長さを設定します。  または  を使ってスライダを 5 ～ 60 秒まで、1 秒刻みで調整します。
ロック	ユーザーの調整へのアクセスをコントロールします。「 ロック 」が選択されているとき、ユーザー調整は許可されません。すべてのボタンがロックされます。 注： ロック機能 - ソフトロック（OSD メニューから）かハード機能（電源ボタンの横にあるボタンを 10 秒間押します） ロック解除機能 - ハード解除のみ（電源ボタンの横にあるボタンを 10 秒間押します）
メニュー設定のリセット	すべての OSD 設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。

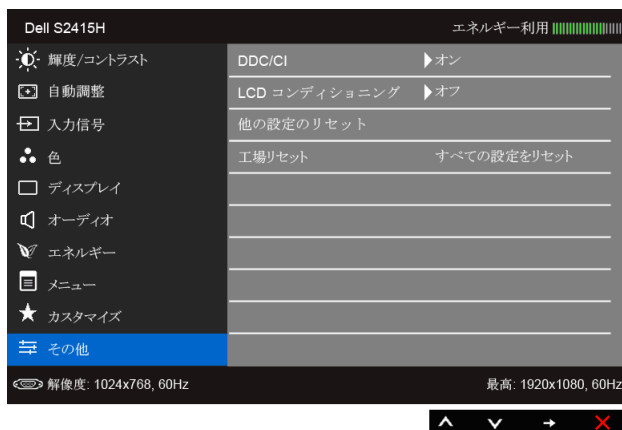


カスタマイズ 「プリセットモード」、「輝度 / コントラスト」、「自動調整」、「入力信号」、「アスペクト比」、「音量」の中から機能を選択し、ショートカットキーとして設定することができます。





その他

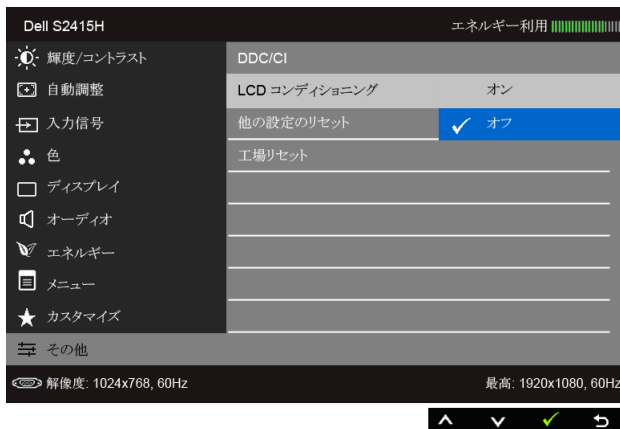


DDC/CI DDC/CI（ディスプレイ データチャンネル / コマンド インターフェイス）により、コンピューターのソフトウェアを介してモニターのパラメーター（輝度、色バランスなど）を調整します。
「オフ」を選択することで、この機能を無効にできます。
ユーザー体験を最大限に高め、モニターのパフォーマンスを最適にする場合、この機能を有効にします。



LCD コンディショニング

画像保持の微細な問題を軽減します。画像保持の程度によっては、プログラムが実行されるまでに少し時間がかかることがあります。「オン」を選択することで、この機能を無効にできます。



他の設定のリセット 「その他」メニューですべての設定を初期値に戻します。

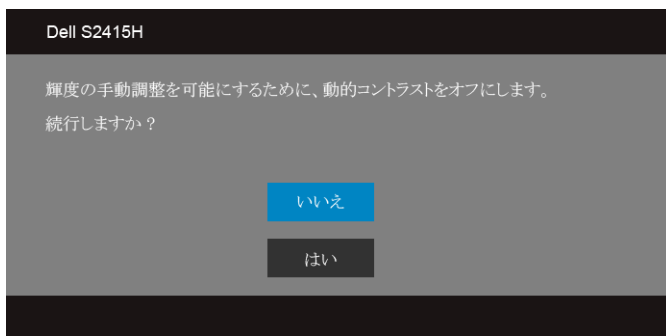
工場リセット すべての設定を工場出荷時のプリセット値にリセットします。



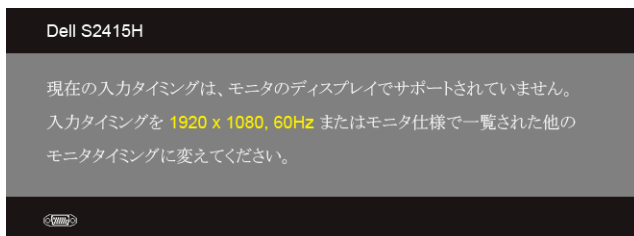
注：このモニタには自動的に輝度を調整して LED の老朽化を補正する機能が内蔵されています。

OSD 警告メッセージ

「動的コントラスト」機能が有効に設定されている場合は（「ゲーム」または「ムービー」などのプリセットモード）、手動輝度調整は無効になります。

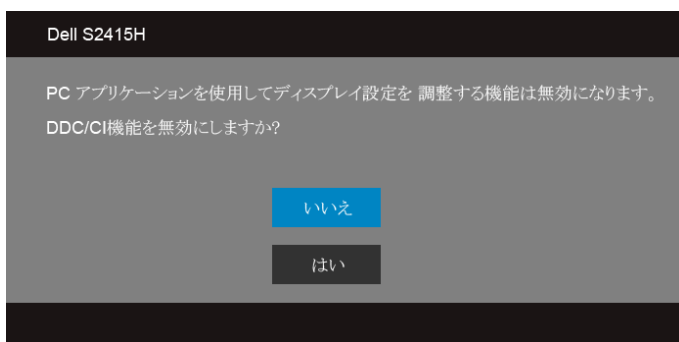


モニタが特定の解像度モードをサポートしていないとき、次のメッセージが表示されます。



これは、モニターがコンピューターから受信している信号と同期できないことを意味します。このモニターが使用できる水平および垂直周波数幅については、[モニター仕様](#)を参照してください。推奨モードは、1920 x 1080 画素です。

DDC/CI 機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます。



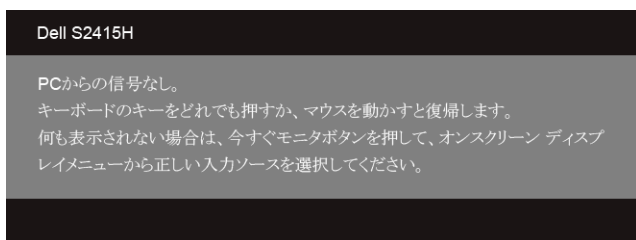
モニターが**省電力モード**に入ると、次のメッセージが表示されます：



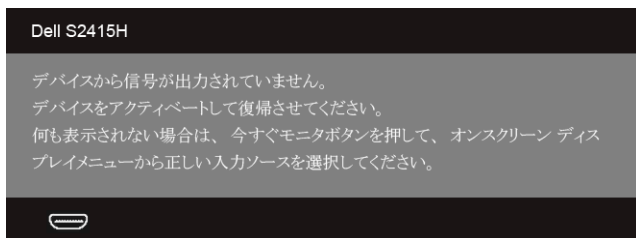
コンピューターを有効にして、モニターを立ち上げ、[OSD](#) にアクセスします。

電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力によって次のメッセージのどれかが表示されます：

VGA/HDMI (MHL) 入力



または



VGA/HDMI (MHL) 入力を選択されているが相当するケーブルが接続されていない場合、以下のような浮動ダイアログボックスが表示されます。



または



詳細は、[問題を解決する](#)を参照してください。

最大解像度を設定する

モニターの最大解像度を設定するには：

Windows® 7、Windows® 8、および Windows® 8.1：

- 1 Windows® 8 および Windows® 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、クラシック デスクトップに切り替えます。
- 2 デスクトップで右クリック、**画面の解像度**をクリックします。
- 3 画面の解像度のドロップダウン リストをクリックし、**1920 x 1080** を選択します。
- 4 **OK** をクリックします。

Windows® 10：

- 1 デスクトップ上を右クリックし、**ディスプレイの設定**をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
- 3 **解像度**のドロップダウン リストをクリックし、**1920 x 1080** を選択します。
- 4 **適用**をクリックします。

オプションとして 1920 x 1080 がない場合は、グラフィック ドライバを更新する必要があります。コンピューターによっては、以下の手順のいずれかを完了してください。

Dell デスクトップまたはポータブル コンピューターをご使用の場合：

- <http://www.dell.com/support> に移動し、サービス タグを入力したら、グラフィックス カードの最新ドライバをダウンロードしてください。

Dell 以外のコンピューター（ポータブルまたはデスクトップ）をお使いの場合：

- コンピューターのサポート サイトにアクセスして、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。
- グラフィックス カード ウェブサイトに進み、最新のグラフィックス ドライバをダウンロードします。

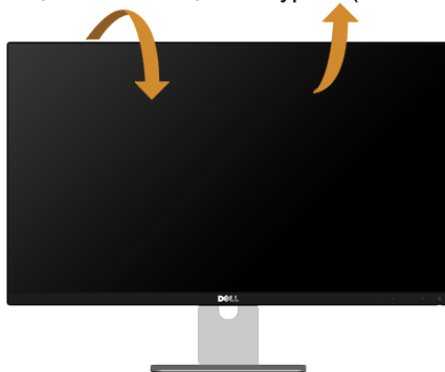
傾けを使う

 注：これはスタンド付モニタに適用されます。その他のスタンドをご購入頂いた際は、スタンドの設置方法はスタンド セットアップ ガイドをご参照ください。

傾け

モニターにスタンドを取り付けると、モニターを最も快適な角度に傾斜させることができます。

5° typical (6° maximum) 21° typical (22° maximum)



 注：モニターを工場から出荷するときは、スタンドを取外します。

問題を解決する

 **警告：**このセクションで手続きをはじめる前に、**安全指示**に従ってください。

自己テスト

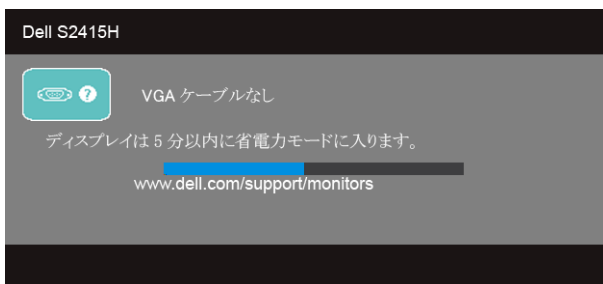
お使いのモニターには、自己テスト機能が装備され、適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピューターが適切に接続されていて、モニター スクリーンが暗い場合は、次の手順でモニター自己テストを実行してください：

- 1 コンピューターとモニター両方の電源をオフにする。
- 2 コンピューターの後ろからビデオ ケーブルを外す。自己テストが適切に運用できるようにするには、コンピュータの後ろからデジタルとアナログ ケーブル両方を外します。
- 3 モニターの電源をオンにする。

モニターがビデオ信号を検知できないが正しく作動している場合、画面に浮動ダイアログボックスが（黒い背景に）表示されます。自己テスト モードでは、電源 LED が白になります。また、選択した入力によって、下に表示されるダイアログの 1 つが画面上をスクロールし続けます。



または



- 4 ビデオ ケーブルが外されているか、または破損している場合、通常システムの運転中、このボックスが表示されます。

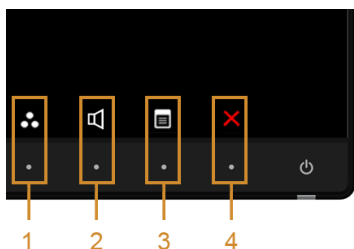
- 5 モニターの電源をオフにして、ビデオ ケーブルを再接続し、次にコンピューターとモニター両方の電源をオンにします。

前の手順を行った後もモニター スクリーンに何も表示されない場合、モニターが適切に機能していないため、ビデオ コントローラーおよびコンピューターをチェックしてください。

内蔵診断

モニターには内蔵の診断ツールが付属しており、発生している画面の異常がモニターに固有の問題か、またはコンピューターやビデオ カードに固有の問題かを判断します。

 **注：**内蔵の診断は、ビデオ ケーブルがプラグから抜かれ、モニターが自己テストモードに入っているときのみ、実行できます。



内蔵診断を実行するには、以下の手順に従います：

- 1 画面がきれいであること（または、画面の表面に塵粒がないこと）を確認します。
- 2 コンピューターの後ろからビデオ ケーブルを外します。モニターが自己テストモードに入ります。
- 3 正面パネルの**ボタン 1**と**ボタン 4**を2秒間同時に押し続けます。グレイの画面が表示されます。
- 4 画面に異常がないか、慎重に検査します。
- 5 正面パネルの**ボタン 4**を再び押します。画面の色が変わります。
- 6 ディスプレイに異常がないか、検査します。
- 7 ステップ5と6を繰り返して、緑、青、黒、白い色の画面およびテキスト画面についてもディスプレイを検査します。

テキスト画面が表示されると、テストは完了です。終了するには、**ボタン 4**を再び押します。

内蔵の診断ツールを使用しているときに画面に異常が検出されない場合、モニターは適切に作動しています。ビデオ カードとコンピューターをチェックしてください。

よくある問題

次の表には、発生する可能性のあるモニタのよくある問題と考えられる解決策に関する一般情報が含まれます。

一般的な症状	発生した問題	実行可能な解決策
ビデオなし / 電源 LED オフ	画像が表示されない	• コンピューターにモニターを接続しているビデオ ケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 • 他の電気機器を使用して、コンセントが正しく機能していることを確認します。 • 電源ボタンが完全に押されていることを確認します。 • 入力信号 メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
ビデオなし / 電源 LED オフ	画像なし、または輝度がない	• OSD によって、輝度とコントラスト コントロールを増加します。 • モニター自己診断テスト機能チェックを実行します。 • ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 • 内蔵診断を実行します。 • 入力信号メニューにより適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。
フォーカスが弱い	画像が不鮮明か、ぼやけているか、または薄れている	• OSD によって「自動調整」を実行します。 • OSD によって、「フェーズ」と「周波数」制御を調整してください。 • ビデオ拡張ケーブルを外します。 • モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • ビデオ解像度を正しいアスペクト比に変更します。
ビデオが揺れたり / ずれたりする	画像が波打ったり、微妙にぶれる	• OSD によって「自動調整」を実行します。 • OSD によって、「フェーズ」と「周波数」制御を調整してください。 • モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • 環境係数をチェックします。 • モニタの場所を変えて、他の部屋でテストします。
ピクセルが抜けている	LCD スクリーンに点が入る	• サイクル電源オン - オフ。 • 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。 • Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。

ドット落ち	LCD スクリーンに 明るい点が入る	• サイクル電源オン - オフ。 • 永久的にオフになっているピクセルがありますが、これは LCD テクノロジーに固有の欠陥です。 • Dell 社のモニターの品質とピクセルに関する方針の詳細、詳細については、Dell サポート (http://www.dell.com/support/monitors) を参照してください。
輝度の問題	画像が薄すぎるか、 明るすぎる	• モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • OSD によって「自動調整」を実行します。 • OSD によって、輝度とコントラストコントロールを調整します。
幾何歪曲	スクリーンが正確に センタリングされて いない	• モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • OSD によって「自動調整」を実行します。 • OSD を使用して水平方向と垂直方向のコントロールを調整する。 注： HDMI 入力を使用しているとき、位置決め調整はご利用いただけません。
水平 / 垂直ライン	スクリーンに複数の 線が入る	• モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • OSD によって「自動調整」を実行します。 • OSD によって、「フェーズ」と「周波数」制御を調整してください。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、これらの線が自己テストモードでも入るかどうかを確認します。 • ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 • 内蔵診断を実行します。 注： HDMI 入力を使用しているとき、「周波数」と「フェーズ」調整はご利用いただけません。
同期化の問題	スクリーンがスクラ ンブル状態か、磨り 減って見える	• モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • OSD によって「自動調整」を実行します。 • OSD によって、「フェーズ」と「周波数」制御を調整してください。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、スクランブル状態のスクリーンが自己テスト・モードでも入るかどうかを確認します。 • ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。 • セーフモードでコンピューターを再起動します。
安全関連問題	スモークまたはス パークの明らかな 症状	• トラブルシューティング手順を実行しないでください。 • 直ちに Dell にご連絡ください。

断続的問題	モニターの誤作動をオンおよびオフ	• コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 • モニタを工場出荷時設定にリセットします。 • モニター自己テスト機能チェックを行い、断続的問題が自己テスト・モードでも発生するかどうかを確認します。
色が欠けている	画像の色が欠けている	• モニター自己診断テストを実行します。 • コンピューターにモニターを接続しているビデオケーブルが適切に接続され、しっかり固定されていることを確認します。 • ビデオ ケーブル コネクタに曲がったり破損したピンがないか、チェックします。
色違い	画像の色が正しくない	• アプリケーションによって、「色」メニュー OSD の「プリセット モード」の設定を変更します。 • 「色」メニュー OSD の「ユーザーカラー」で R/G/B 値を調整してください。 • 「色」メニュー OSD で、「入力カラー形式」を PC RGB または YPbPr に変更します。 • 内蔵診断を実行します。
長時間モニターに静止画像を表示したために起こる画像の焼き付き	表示された静止画像のかすかな影が画面に表示される	• 使用していないとき、電源管理機能を使って、常にモニターの電源をオフにしてください（詳細については、電源管理モードを参照してください）。 • または、動的に変わるスクリーンセーバーを使用します。

製品別の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スクリーン画像が小さい	画像がスクリーン上でセンタリングされているが、全表示領域を満たしていない	• 「ディスプレイ」メニュー OSD で、「アスペクト比」設定を確認します。 • モニタを工場出荷時設定にリセットします。
正面パネル上のボタンで、モニターを調整できない	OSD がスクリーン上に表示されない	• モニターの電源をオフにして、電源コードを外し、もう一度コードを差し、電源を入れます。 • OSD メニューがロックされているかどうか確認します。ロックされている場合は、電源ボタンの横にあるボタンを 10 秒間押し続けるとロック解除できます。ロックを表示してください。
ユーザコントロールを押しても入力信号がない	画像が表示されず、LED が白く点灯	• 信号ソースをチェックします。マウスを動かすかキーボードのどれかのキーを押して、コンピューターが省電力モードに入っていないことを確認します。 • 信号ケーブルが正しく差し込まれているかどうかをチェックします。必要に応じて、信号ケーブルを差し込み直してください。 • コンピューターまたはビデオプレーヤーを再起動します。
ピクチャが画面全体に表示されない	ピクチャを画面の高さまたは幅いっぱいに表示できない	• DVD の異なるビデオ形式により、モニターが全画面で表示できないことがあります。 • 内蔵診断を実行します。

Mobile High-Definition Link (MHL) 特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
MHL インターフェイスが作動していない	MHL デバイスの画像が表示されない	• MHL ケーブルと MHL デバイスが MHL 認証のものであるか確認してください。 • MHL デバイスがオンになっているか確認してください。 • MHL がスタンバイ モードになっていないか確認してください。 • 実際の MHL ケーブル接続が OSD メニュー：HDMI (MHL) で選択した入力ソースに対応しているか確認してください。 • MHL デバイスの中には復帰に時間を要するものがありますので、MHL ケーブルに接続した後、30 秒ほどお待ちください。

スピーカー特有の問題

特定の症状	発生した問題	実行可能な解決策
スピーカーから音がでない	音が聞こえない	• モニターの電源を切り、一旦モニターの電源コードを抜いてからもう一度差し込んでください。その後、再びモニターをオンにします。 • オーディオ ケーブルが正しくコンピュータ オーディオ 出力ポートに接続されているか確認してください。 • ヘッドフォン ポートからヘッドフォン ジャックを抜きます。 • モニタを工場出荷時設定にリセットします。

警告：安全指示

 **警告：**このマニュアルで指定された以外のコントロール、調整、または手順を使用すると、感電、電氣的障害、または機械的障害を招く結果となります。

安全に関する注意事項については、製品情報ガイドを参照してください。

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報

米国連邦通信委員会 (FCC) 通告（米国内のみ）およびその他規制に関する情報に関しては、規制コンプライアンスに関するウェブページ www.dell.com/regulatory_compliance をご覧ください。

Dell へのお問い合わせ

 **注：**インターネット接続をアクティブにしていない場合、仕入送り状、パッキングスリップ、請求書、または Dell 製品カタログで連絡先情報を調べることができます。

Dell では、いくつかのオンラインおよび電話ベースのサポートとサービス オプションを提供しています。利用可能性は国と製品によって異なり、お客様の居住地域によってはご利用いただけないサービスもあります。

オンライン モニター サポートを読むには：

- 1 www.dell.com/support/monitors にアクセスします。

Dell の販売、技術サポート、または顧客サービス問題に連絡するには：

- 1 www.dell.com/support にアクセスします。
- 2 ページ左上の **国 / 地域** の選択ドロップダウン メニューで、居住する国または地域を確認します。
- 3 **国** を選択するドロップダウンの横にある **お問い合わせ** をクリックします。
- 4 必要に応じて、適切なサービスまたはサポート リンクを選択します。
- 5 ご自分に合った Dell への連絡方法を選択します。

モニターのセットアップ

ディスプレイ解像度を設定する

Microsoft® Windows® オペレーティング システムを使用している間最適のディスプレイパフォーマンスを達成するには、次のステップを実行してディスプレイ解像度を **1920 x 1080 画素**：

Windows® 7、Windows® 8、および Windows® 8.1 :

- 1 Windows® 8 および Windows® 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、クラシック デスクトップに切り替えます。
- 2 デスクトップで右クリック、**画面の解像度**をクリックします。
- 3 画面の解像度のドロップダウン リストをクリックし、**1920 x 1080** を選択します。
- 4 **OK** をクリックします。

Windows® 10 :

- 1 デスクトップ上を右クリックし、**ディスプレイの設定**をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
- 3 **解像度**のドロップダウン リストをクリックし、**1920 x 1080** を選択します。
- 4 **適用**をクリックします。

オプションとして推奨解像度が表示されない場合、グラフィックス ドライバを更新する必要があります。ご使用中のコンピューター システムをもっともよく説明するシナリオを以下から選択し、示される指示に従ってください。

インターネットにアクセスして Dell™ デスクトップ コンピューターまたは Dell™ ノート PC を使用している場合

- 1 www.dell.com/support に移動し、サービス タグを入力したら、グラフィックス カードの最新ドライバをダウンロードしてください。
- 2 グラフィックス アダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1920 x 1080** 画素に設定します。



注： 解像度 1920 x 1080 に設定できない場合、Dell™ に連絡してこれらの解像度をサポートするグラフィックスアダプタを調べてください。

非 Dell™ デスクトップ コンピューター、ノート PC、またはグラフィック カードを使用している場合

Windows® 7、Windows® 8、および Windows® 8.1 :

- 1 Windows® 8 および Windows® 8.1 専用です。デスクトップ タイルを選択して、クラシック デスクトップに切り替えます。
- 2 デスクトップ上で右クリック、**個人用設定**をクリックします。
- 3 **ディスプレイの設定の変更**をクリックします。
- 4 **詳細設定**をクリックします。
- 5 ウィンドウ上部の説明から、グラフィックス コントローラ サプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
- 6 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、<http://www.ATI.com> または <http://www.NVIDIA.com>)。
- 7 グラフィックス アダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1920 x 1080** 画素に設定します。

Windows® 10 :

- 1 デスクトップ上を右クリックし、**ディスプレイの設定**をクリックします。
- 2 **ディスプレイの詳細設定**をクリックします。
- 3 **解像度**のドロップダウン リストをクリックし、**1920 x 1080** を選択します。
- 4 ウィンドウ上部の説明から、グラフィックス コントローラ サプライヤを確認します (NVIDIA、ATI、Intel など)。
- 5 更新されたドライバについては、グラフィックカードプロバイダの web サイトを参照してください (たとえば、<http://www.ATI.com> または <http://www.NVIDIA.com>)。
- 6 グラフィックス アダプタのドライバをインストールした後、解像度を再び **1920 x 1080** 画素に設定します。



注：推奨解像度を設定できない場合は、コンピューターの製造元にお問い合わせになるか、ビデオ解像度をサポートするグラフィックスアダプターの購入をご考慮ください。